

2月どんぐりsカフェ

高森台中学の“まちづくり”授業から学ぶ

前々日から降り続いた雪もやみ、薄日もさしはじめた2月15日の午後、高森台中学校の松下貢二先生による講演“こどもたちとまちづくり”を聞いた。この講演は、高森台中学1年生を対象にした7時間にわたる社会科授業「少子高齢化社会におけるまちづくり」の報告である。

どんぐりsから

ついこの間新年を迎えたばかりと思っていたのに早3月。あの東日本大震災から3年。どんぐりsが活動を始めてから6年経ちました。

東日本の復興は、原発事故が絡んでいるとはいえ順調に進んでいるようには見えず、NTの再生も新たな動き（市政アドバイザーNT担当、中部大学COC事業等）はありますが、その先の具体的な展開はこれからというところです。

3/5毎日新聞社説は東松島市の住民参加の復興への取組みをあげ「震災からの復興には、こうした地域主導の動きを支える時だ（国が自治体に、自治体が住民に計画づくりを委ね、支え役に廻るのが地域主導のサイクルだ。ただその歯車はなかなかかみ合わない）」とし、続けて「高齢化が進み人口が減る中で地域のコミュニティを保ち、雇用や暮らしをどう守っていくのか。被災地の課題は日本の多くの地域が共通に抱える課題である。だからこそ（被災地の）復興の行方は明日の社会を映す鏡で（中略）被災地の挑戦がとても大事な局面を迎えるいま、これに注目したい」としている。被災地をNTと読み替えてもそのまま通じる話では……。

理事長 曾田 忠宏



授業は、まず高蔵寺ニュータウンの新旧写真を見ながら生徒たちの感想を聞くところから始まり、統計資料による人口減少の実態把握、生徒自身が行ったアンケート結果からみるニュータウンの問題点の把握、春日井市総合計画の学習、地域の活動団体によるまちづくりの実践活動の授業へと展開し、最後に授業全体を通しての感想と提案（ショッピングモールや観光スポット等）を生徒たちにまとめさせたという。

松下先生は、この授業をとおして、生徒たちが普段何気なくみてきた“まち”にも、「孤独死」をはじめとする問題が横たわっていることを知り、どうしたらよいかを一人ひとりが“考える”力を養うことができたのでは、と結んだ。

参加者からは、生徒たちの地域への関心を呼び起こしたこの質の高い授業に賛辞が寄せられるとともに、他校でもこうした授業が展開できないかという期待、また、こどもたちも参加する“まちづくり”イベントの必要性を指摘する声も寄せられた。この日は、松下先生の教え子（現在高校1年生）も飛び入り参加し、和やかで、学ぶことの多い一日となった。

T.E.A. パーティだより

ラジオ体操からコーヒーサロンで知り合いづくり 石尾台 介護予防の健康増進サークル 高森台

昨年7月半ばに産声を挙げたT.E.A. パーティの集いは、3月2日で15回を数えました。総参加者数は、136名で、1回平均12名とい



こはくちょう 森 健

私の朝・昼・晩

「高蔵寺ニュータウンブランド」の私案 石尾台 高木 洋一

高蔵寺NTは後から開発された名古屋近郊の住宅地との競争に負けている。特に利便性でも環境的にも負けるはずのない守山区志段味地区に対し地価で大きく負けているのはなぜか。これは高蔵寺というブランドが名古屋ブランドに大きく負けているためと断じざるを得ない。

しからは高蔵寺が名古屋ブランドに勝つためにはどうすればよいか。私は以下の二点を提唱したい。

① 高蔵寺地内の小学校、中学校の学力を圧倒的に高くする。② 高齢者が元気で明るく楽しく暮らしている町（高齢者の元気度ナンバー1の町）を作る。

① については学校と地域住民が協力すれば簡単に可能（要は落ちこぼれをなくすことに尽きる）。②は例えば中央線トンネル再生とか、生き生き楽農会などのコミュニティ活動を数多く活発に作る。そのためには県有地の空き地は格好の活動拠点や情報発信拠点になると思うのだが-----。

う趨勢で揺籃期を過ごしてきました。この間、地元で観られる社会現象のユニークな見方や、示唆に富んだ提言等で、T.E.A. パーティ自身の足跡を残してきました。

2月23日、3月2日の集いでは、忙しい会社生活で近隣に知り合いもいなかった時からラジオ体操や、今は毎週開かれるカフェ等を通じて、知人友人を増やして行った事例に耳を傾け、「住めば都」について話し合いました。「良く続いているね」という感想と共に、女性陣の果たす役割が改めて見直されました。街づくりは、文字通り老若男女の協働で初めて可能になるということを再確認しました。

柴山美津子さんがT.E.A. パーティで提唱され中部大生命健康科学部理学療法学科の協力を得てできた「メタボ&ロコモ予防サークル」がいよいよ発足します。要介護や寝たきりにならないための健康増進活動です。

3月27日午前11時 高森台団地集会所で
連絡先 91-0639 柴山

3月どんぐりsカフェ予告

テーマ：「ニュータウン内の驚異的な空家戸数とその影響」UR賃貸住宅8000戸のうち1600戸（20%）が空家！

講師：橋本憲二氏（NPO法人チームK・O・Z事務局長）

日時：3月15日（土）13.30-16.00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館3階 こども図書館隣）

資料代：500円、当日受付。

ティーパーティのご案内

日時：3月23日（日）、4月13日（日）
13：30～16：00

場所：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館3階 こども図書館隣）

どなたでも参加できます多数の参加をお待ちしています。